市長発言要旨

このたび、10月16日付けで記者発表しましたとおり、宝塚市消防本部が利用するシステムの運営事業者において、第三者による不正アクセスが発生し、市民の皆さまなどの個人情報が漏えいしたおそれがあることが分かりました。

市民の皆さまの大切な個人情報を守ることは、市政に対する信頼の根幹に関わることです。市民の皆さまには、多大なご心配をおかけしておりますことを、心よりお詫び申し上げます。

市では、従前より情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格であるＩＳＭＳ（アイエスエムエス）認証や、日本独自制度のプライバシーマークの取得などを受託事業者の要件として規定することで、情報漏えいやサイバー攻撃などのリスクを体系的に管理できる事業者を選定しています。しかしながら、新聞等で盛んに報道されているとおりサイバー攻撃が激化しており、多くの事業者において、個人情報の漏えいにつながる事案が発

生しています。また、PHP に重大な脆弱性が発覚するということもありました。本市では、即座に各システムにおいて緊急メンテナンスを行ったことで難を免れましたが、サイバー攻撃の脅威はすぐそこまで迫っています。

こうした背景を踏まえ、先般の発表にあたり、私が特に大切にしたことを改めてお伝えします。それは、全容が明らかになるまで公表を待つのではなく、おそれのある段階であったとしても、いち早く市民の皆さまに状況をお伝えすることです。

個人情報が悪用されるような犯罪は、実際に漏えいが確認されてからでは、未然に防ぐことが難しい場合があります。例えば、漏えいした可能性のある情報が悪用され、市や関係機関を装ったメールや電話が届いたり、偽のウェブサイトに誘導され、さらに個人情報を求められたりすることも考えられます。

もちろん、現時点で確認できていない被害を、あたかも発生したかのようにお伝えすることはできませ

ん。一方で、被害が起きていないからといって、何もお知らせしなくてよいとも考えておりません。

市民の皆さまがご自身で注意し、被害を防ぐために必要な情報は、できるだけ早くお伝えする。それが、市民の皆さまの安全と安心を守るために、市として果たすべき責任だと考えています。

そこで、この場をお借りし、市民の皆さまにご注意いただきたいことを 3 点お伝えさせていただきます。

まず 1 点目、市が電話やメール、ショートメッセージなどで、個人情報やパスワード、クレジットカード情報などの入力・提供を求めることは決してありません。よって、これらを求められても応じないでください。

2 点目、心当たりのないメールに記載された URL や添付ファイルは、開かないでください。

3 点目、不審な連絡を受けた場合、メールへの返信や記載された電話番号への折り返しは行わず、市のホームページなどで正しい連絡先を確認し、問い合わせ

てください。

　市民の皆さまにおかれましては、ご不安やご不便を感じておられることと思います。市として、そのお気持ちを真摯に受け止め、影響の範囲と事実関係の確認に全力で取り組んでまいります。調査の結果、新たな事実が判明した場合には、速やかにお知らせしてまいります。